

「水と健康生活 Vol.2」

5月28日(土) 13:30~ 15:30 定員200名

静岡大学浜松キャンパス SPort(エスポート)3階 大会議室
〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1
(浜松駅からバス:のりば15と16の全系統, 静岡大学下車すぐ)

※会場定員を上回る来場者があった場合には聴講をお断りする場合があります

無料

講演1

「水と電解水:何がどのように違うのか?」

岐阜大学応用生物科学部教授 早川享志

私たちにとって、空気がなくては生きられないように、水なしでは生きられません。しかし、水の汚染問題など、いろいろ問題があり今日に至っています。最近では、水の質は徐々に改善し、水道水が美味しいと言われるまでになりました。こうした中で、食品に機能性を求めるように、水にも機能性を求める動きが出てきました。そもそも、水の機能性とは何でしょうか?最近、スーパーなどには、(飲用可の)電解水が設置されていて、一般の人が持ち帰って家庭で利用できる時代となりました。でも、電解水とは何でしょうか?そして、電解水を飲むことに意義はあるのでしょうか?私はアルカリイオン水の研究を長らく行ってきました。こうした研究の一端を紹介できればと思います。

講演2

「佐鳴湖の水環境:水が汚いとはどういうことか?」

静岡大学工学部准教授 戸田三津夫

かつて、水が汚いことで有名になった佐鳴湖。でも、においもほとんどしないし、魚が浮くこともありません。では、佐鳴湖が汚いとは、いったい何をさしているのでしょうか? だいいち、本当に汚いのでしょうか? 水が汚いとはそもそもどういうことなのでしょう? 私たち日本人は、世界でも特異ともいえる清潔感を持っています。それは、衛生的である反面、弊害もあるかもしれません。微生物と人体の関係についても、いろいろ新しい事実が分かってきて、微生物を遠ざけることが必ずしも良いことではないと言われ始めています。佐鳴湖の水の「きれい・汚い」を通じて、あらためて私たちの生活を考え直してみましよう。

申込不要
どなたでも
聴講可能

【問い合わせ】

三遠南信水機能活用研究会 事務局
(株)ハマネツ 総務部内 野中

〒430-0926 浜松市中区砂山町325-6 日本生命浜松駅前ビル3F
TEL:053-450-8055

みんなのほまろっ
創造プロジェクト

主催:三遠南信水機能活用研究会, 静岡大学アメニティ佐鳴湖プロジェクト